

農 政 課

平 成 26 年 度

農 政 課

1 概 況

管内の農業は、標高約 1,200m の八ヶ岳山麓から 760m の諏訪湖周辺に至る地域において営まれており、八ヶ岳西麓地域と諏訪湖周辺地域に大別できる。

八ヶ岳西麓地域は、県下有数の野菜・花きの産地であり、夏期冷涼な気象条件を活かし、野菜では、キャベツとだいこんが指定野菜に、セルリーとスイートコーンが特定野菜の産地指定を受けている。特にセルリーは全国屈指の産地として発展してきている。花きでは、キク、カーネーションを中心に多品目が栽培されており、県内の 3 割弱の生産額を占める大産地として発展している。

また、畜産は酪農が主体で、自給飼料（牧草）を活用した畜産経営が行われている。

諏訪湖周辺地域は、水稻を基幹に果菜類（トマト、キュウリ）や花き（バラ、カーネーション）の施設化、団地化が図られている。果樹ではりんごが中心に生産され、主に観光農園で販売が行われている。

（1）耕地面積

耕地面積は 6,242ha で、田は 3,444ha、畑 2,793ha となっている。

農家一戸当たり耕地面積は 100a で県平均 95a を上回っている。

（単位：ha、a、%）

市町村名	耕地面積	田	畑	農家一戸当たり耕地面積
岡谷市	239	83	156	47
諏訪市	659	427	232	60
茅野市	2,500	1,420	1,070	100
下諏訪町	54	27	27	31
富士見町	1,650	928	723	137
原村	1,140	559	585	159
合計	6,242	3,444	2,793	100
対比	99.0	98.4	99.8	—
県	110,400	54,700	55,700	95
対比	99.3	98.7	99.8	—

注）資料：農林水産省耕地面積調査（平成 25 年 7 月 15 日現在）

①対比は平成 22 年 7 月 15 日現在との比較

②原数を四捨五入したため、総数と一致しない場合がある。

③一戸当たり耕地面積の算出に使用した総農家戸数は 2010 年農業センサスによる。

(2) 農家戸数、農業就業人口、基幹的農業従事者等

農家戸数は 6,290 戸で前回センサスの 92.8%となっており、うち専業農家は 841 戸で、専業農家率 13.4%は県の 14.3%を下回っている。

販売農家戸数は 3,163 戸、自給的農家戸数は 3,127 戸となっている。

農業就業人口は 5,335 人で前回センサスの 78.0%と減少しているが、販売農家の基幹的農業従事者は 4,373 人で、前回センサスの 82.2%にとどまっている。

(単位：戸、%、人)

市町村名	農 家 戸 数						農 業 就業 人口	基幹的 農業 従事者	
	総農 家数	販 売 農 家			自給的 農 家	専 業 農家率			
		専 業	兼 業						計
			第 1 種	第 2 種					
岡 谷 市	514	30	18	66	114	400	5.8	177	154
諏 訪 市	1,120	126	38	307	471	649	11.3	704	542
茅 野 市	2,548	333	160	816	1,309	1,239	13.1	2,076	1,776
下諏訪町	179	11	5	16	32	147	6.1	49	45
富士見町	1,205	162	101	431	694	511	13.4	1,163	871
原 村	724	179	124	240	543	181	24.7	1,166	985
合 計	6,290	841	446	1,876	3,163	3,127	13.4	5,335	4,373
対 比	92.8	108.1	63.4	81.5	83.6	104.5		78.0	82.2
県	117,316	16,742	8,381	36,953	62,076	55,240	14.3	100,244	83,247
対 比	92.4	101.8	71.7	79.3	83.1	105.7		75.5	83.6

(注) 資料：2010 年農業センサス

対比は 2005 年農業センサスとの比較

(3) 平成 25 年産の農業生産状況

気象経過は、4月の下旬に季節外れの雪が降るなど、5月上旬にかけて低温であった。その後は、総じて 11 月上旬まで高温傾向で推移した。梅雨入りは平年並みで、梅雨明けは平年より半月ほど早まり、梅雨期間は短かったことなどにより、降水量は 8 月上旬まで少ない傾向であった。

大きな気象災害はなかったが、4月下旬の降雪、低温により果実の花芽と育苗中の野菜苗に影響があった。また、8月の局地的な豪雨、9月の台風により、そばの湿害、倒伏等の被害があった。26 年の 2 月には大雪によるビニールハウスの倒壊等甚大な被害があった。

水稻は、活着は順調であったが、6月下旬の日照不足により生育が一時停滞したが、その後の高温により生育は進み、収穫量・品質は平年並みだった。野菜は、豊作基調による供給過多から一時価格が低迷したが、北海道などの競合産地からの出荷量が減少したことから、一年を通すと堅調な市況で推移した。花きは、円安の影響で切花の輸入量が減少したことで、カーネーション等の品目では単価が数年前の水準程度に回復した。また、トルコギキョウ、宿根カスミ草の単価は年間を通して高く推移したものの、生産者の減少等により生産量は前年に比べて減少した。

(4) 農業等産出額 (H24)

(単位：ha、千万円、%)

種類	作付面積	農業等算出額	構成比	備考	
農畜産物	米	2,183	343	21.7	
	麦・大豆・雑穀	526	10	0.6	
	果樹	102	19	1.2	
	野菜	1,698	588	37.1	
	花き	110	397	25.1	
	きのこ	-	20	1.3	
	畜産	-	93	5.9	
	養蚕・その他	-	0	0.0	
	計	4,619	1,470	92.8	
水産業	-	114	7.2		
合計	-	1,584	100.0		

(注) 生産額は県農業産出額に基づく地方事務所推計値である。

(5) 平成26年2月8日から16日の雪害の状況と対応策について

ア 被害状況 (4月21日確定値)

(単位：ha、t、千円)

	棟数	生産施設 (ハウス等) 被害		農作物等被害				被害金額計	
		面積	金額	農作物、樹体		畜産物等			
				面積	金額	被害量	金額		
諏訪管内	岡谷市	11	969	3,876					3,876
	諏訪市	18	3,357	13,428					13,428
	茅野市	1,033	106,265	425,060					425,060
	下諏訪町	1	41	164					164
	富士見町	787	140,875	563,498	2.89	101,308	9.1	941	665,747
	原村	700	96,116	384,464	1.13	25,170	2.0	205	409,839
	計	2,550	347,623	1,390,490	4.02	126,478		1,146	1,518,114
県計	15,863	2,204,075	8,821,419	34.68	422,561		12,290	9,256,270	

※ 諏訪管内の被害額は、佐久管内に次いで2番目。(3番目は上小管内)

イ 支援対策

項目	支援内容	支援単価等	助成額※
施設修繕復旧	被災施設の修繕や復旧に要する経費の助成	要する経費の9/10以内で助成 国：5/10、県・市町村：4/10	千円 1,683,722
施設撤去	被災施設の撤去に要する経費の助成	基準単価の範囲内で助成(10/10) 国：5/10、県・市町村：5/10 基準単価：パイプハウス 290円/㎡ ガラスハウス 1,200円/㎡ 自力撤去 110円/㎡	
農作物被害対策	代作用種苗の導入等	市町村が助成した額の1/2以内 (県単独事業)	2,343
経営安定対策	無利子資金支援 災害関連資金の無利子化等	被災農家が施設の復旧等を行うための資金の無利子化	(融資額) 17,200

※ 助成額(融資額)については、現在個別の積み上げを行っており集計中 (6月末現在)